

金足農業高校硬式野球部 未来創造プロジェクト主催

チームマネジメント①

テーマ：理念とチームコンセプトの理解と共有



Presented by Design Leadership Inc,

基本理念：人間尊重 ・ 美と哲学 ・ 諦めない、その先へ

人間尊重

人が人らしくある。人の感情、感性を大切に、生き活きと夢に向かって挑戦する姿勢をお互いが認め合う。個人を尊重し、何事にも誠実に向き合い、物事に全力を尽くします。

既成概念にとらわれず自由に発想し、主体性を持って行動することが大切です。

美と哲学

私たちは美意識と哲学を大切にしています。人の内面に潜む美と人生を通じて得た自らの哲学を大切にしています。

自分らしさを基盤に身心ともに健康であるために、信念やよりどころを明確にし、常に内省と修正を繰り返し、しなやかな自分軸を持ち続けます。

諦めない、その先へ

人生には、夢、ドラマ、感動を持ちたいと考えています。夢をつかむために困難はつきものです。しかし、活気を持つことを忘れず、物事に向き合い、自らに問いかければ人は無限の能力を発揮し、その困難を乗り越え、成長することができます。そして、その原体験が自分の価値を拡げてくれるのです。

身につけてきた知識・経験・スキル

×

アンラーニング

クセ・パターン・思い込みからの



アンラーニングとは？

過去に学んだこと、経験したことを、一度柔らかくほぐし直し、そこから新たに発展させていく技術です。

考え方、キャリア、人生を今よりも少し柔らかくして、「自分の伸びしろ」を増やしていく、自分を成長させる技術といえます。

イントロダクション

今回の不祥事の原因を特定していく

STOP & LOOK

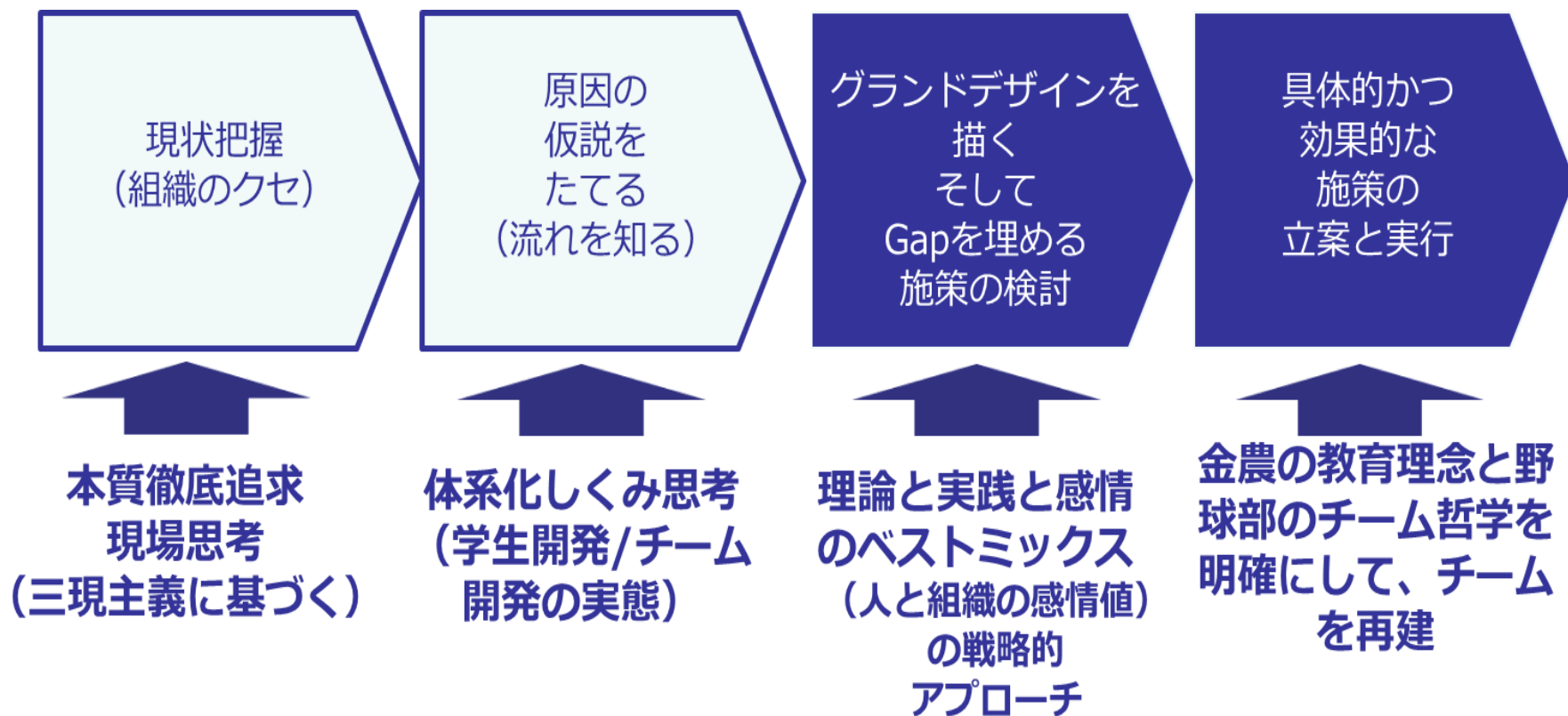
硬式野球部体質改革プロジェクトの 発足について

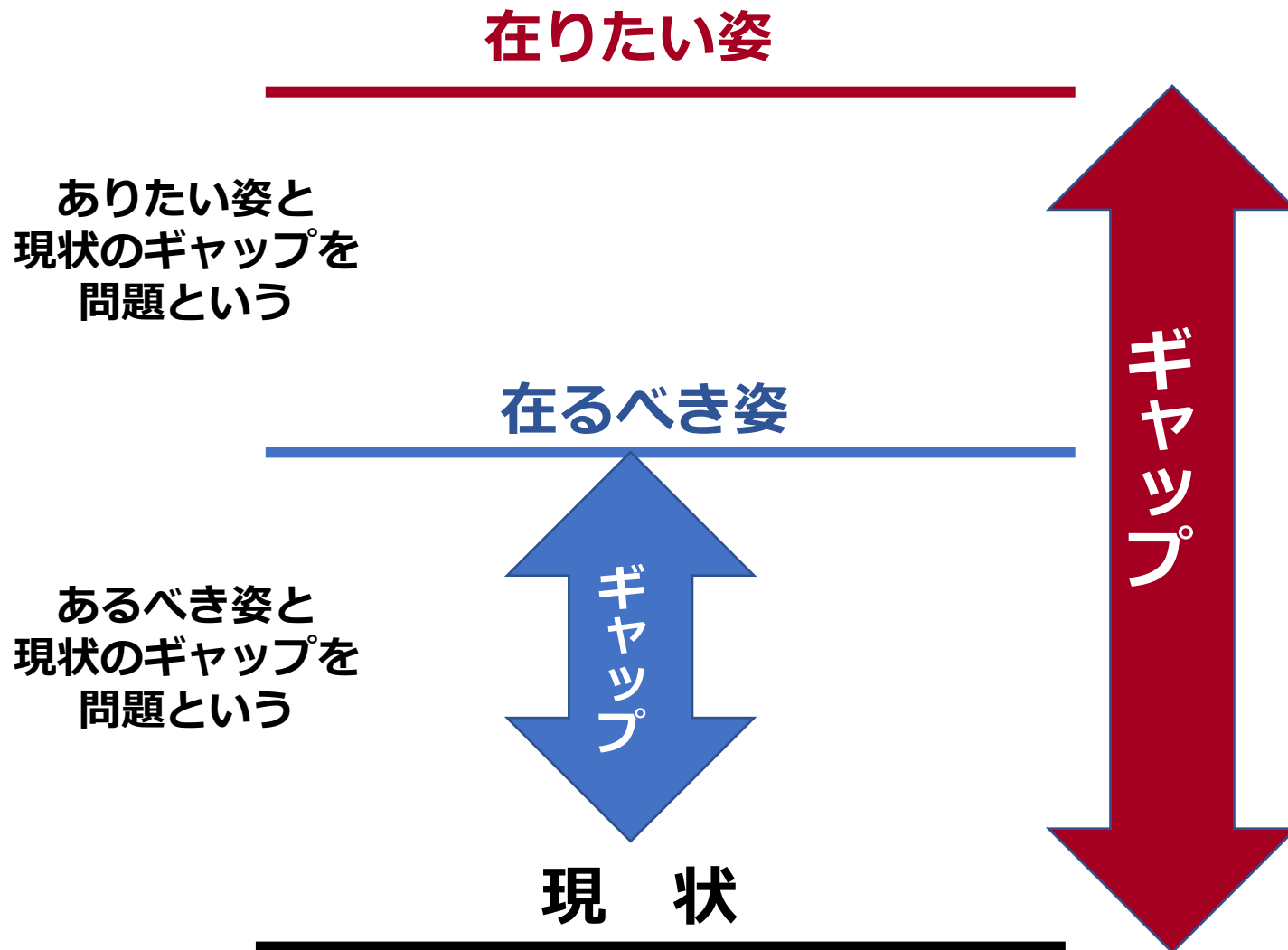
テーマ：革新金農野球部
対話から勇気と覚悟で今を未来へ繋げる

金足農業高校・硬式野球部
未来創造プロジェクト

2022年9月6日

金足農業高校野球部の体質を変え、 持続的成長可能なチーム作りの基盤をつくる





そもそも「問題解決」とは何か？

① どのような問題なのか



- ・ 起こった事象だけに対処するのではなく、目の前の事象に問題点はないか問いかける
「なぜ、その事象が起こったのか？」
「本当は、どうあればその事象が起きないのか？」

② 問題の原因は何か ⇒ なぜ？なぜ？と掘り下げていく



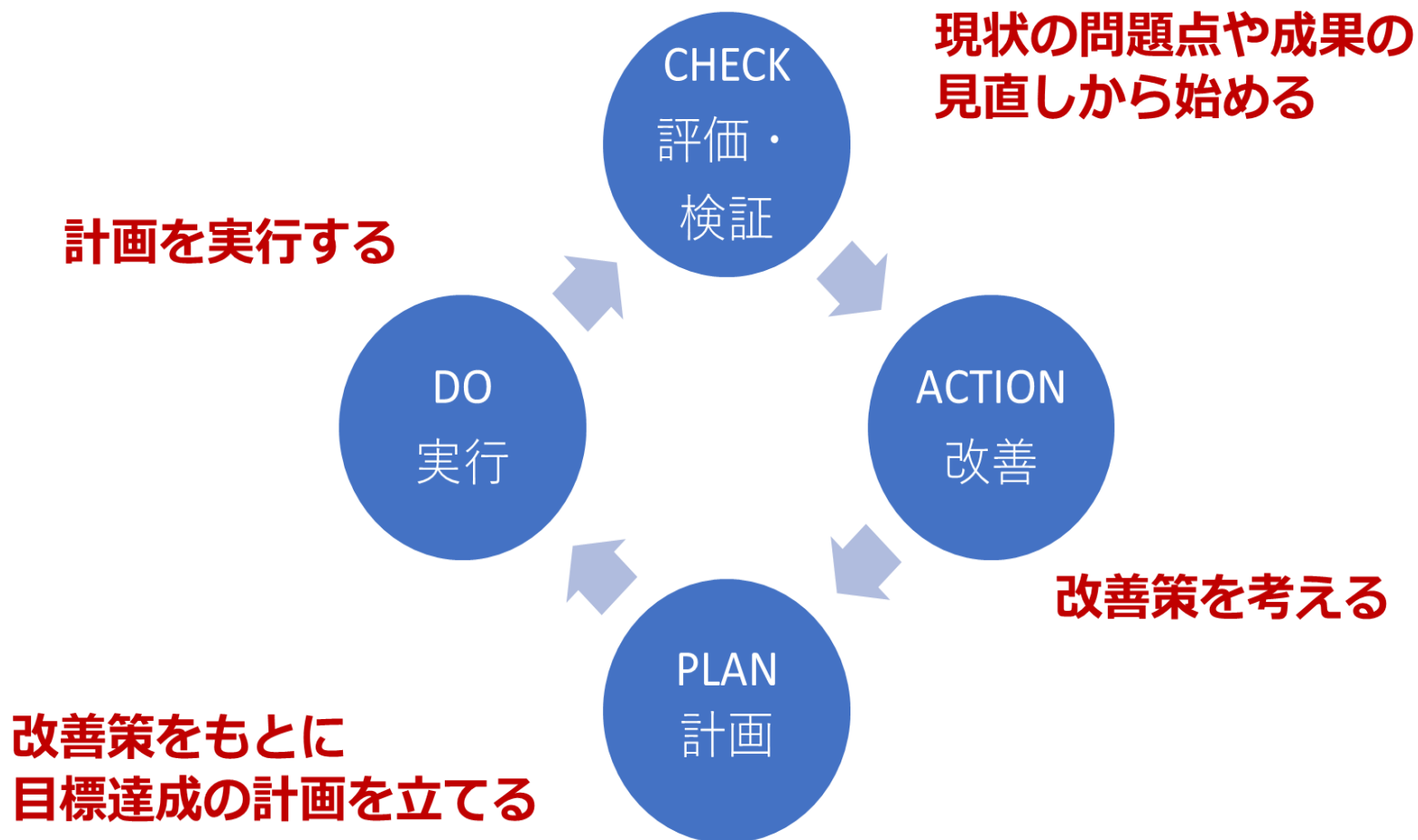
- ・ 問題を掘り下げ、真の問題である「**本質**」を見つける
- ・ 今まで「最善策」と思っていたものも見直してみる



③ 具体的な解決策を実行する

- ・ 真の問題（原因）を明確化し、解決するための具体策を実行する

CAP-Doサイクル



<事例>

問題事象： なでしこJapanがオリンピック予選で敗退した				
なぜ	なぜ	なぜ	なぜ	真の原因
チームの一体感が今一つ高まらなかった	プレー全体に繋がりとスピードが欠けていた	若手層とベテラン層のプレーに繋がりがなかった	実績あるメンバーと若手層に心理的な距離感が大きかった	新旧の世代交代が上手くできなかった

<ポイント>

問題の原因が正しく把握できれば、その後の課題や目標設定、施策立案は容易になる。思考プロセスにおいて最も重要な点が「原因の究明」である。

仮説と検証を何度も繰り返し、真の原因を追究すること。
(頭の中だけで考えない。現場を何度も確認する)

チーム文化 (冰山モデル)

ハード部分

戦略・仕組・制度

ソフト部分

行動

考え方

人間関係

海面

部門間の壁ができる チームで仕事をしない

情報が伝わらない

コミュニケーションがとれない

ルールを守らない

失敗は許されない

どうせ言っても無駄

指示命令で人は動く

本音で話をしない

困っていても助けない

信頼関係がない

自分の組織の問題を「可視化」する

①見える化

What?

②ガチ対話

So What?

可視化された問題を
関係者一同で真剣勝負の対話

③未来づくり

Now What?

これからどうするかを
関係者一同で決める

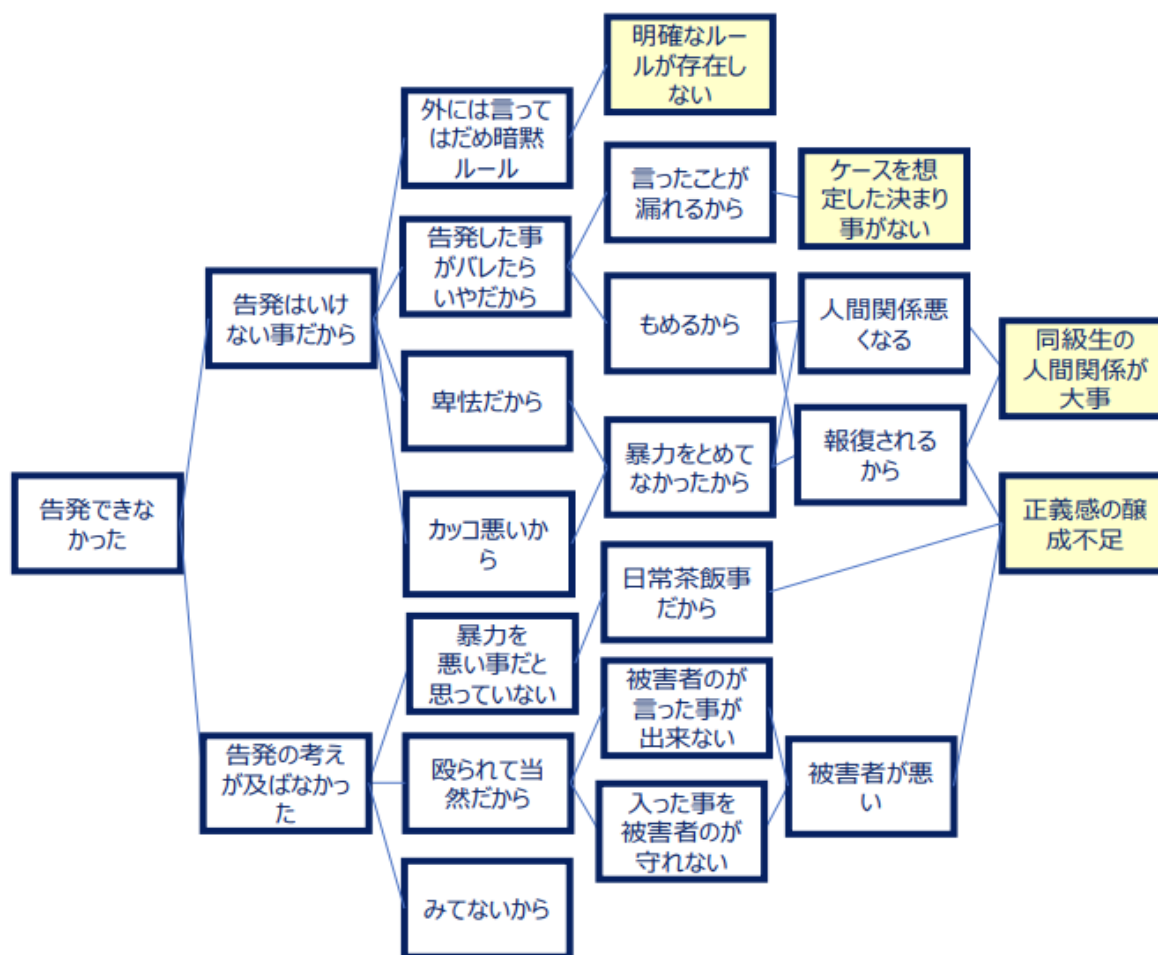
なぜ、暴力、いじめが起こったか？

事象から絞り込んだ問題点

	加害者	被害者	他選手	校長 部長 監督 コーチ 他選手
1次的問題	暴力・いじめ やった	暴力・いじめ やられた		
2次的問題		暴力・いじめの告発なし	暴力・いじめ 見過ごし	
3次的問題				実態知らず
				保護者 OB会

原因究明と再発防止が必要

なぜなぜ分析 「2年生がいじめ事件を告発できなかった」



マネージメント
いじめ暴力防止や
正義感醸成の
教育をしていない

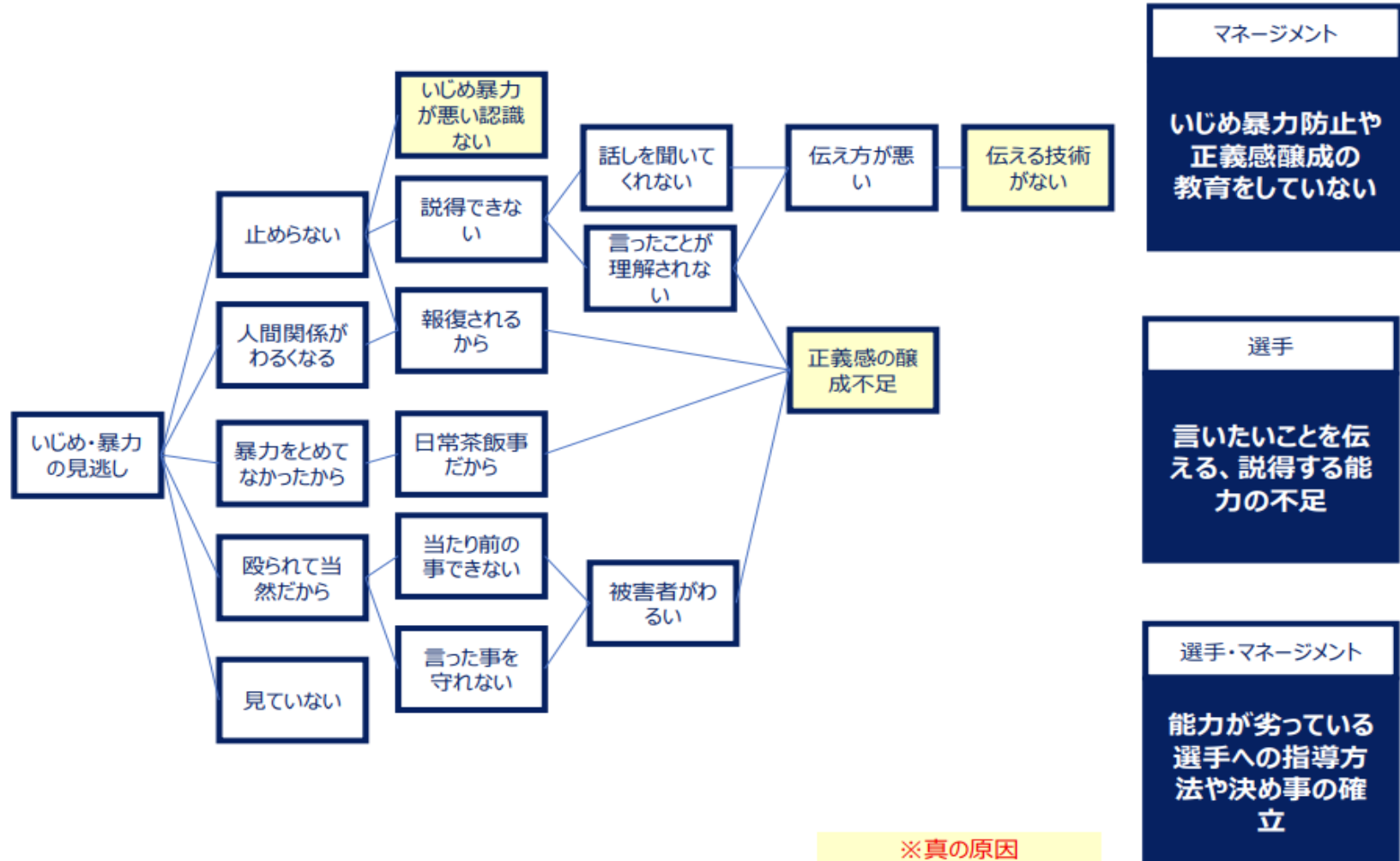
マネージメント
いじめ暴力発生時
のルール、フローが
決まっていない

選手・マネージメント
物事の優先順位
の付け方を正しく
教育していない

※真の原因

なぜなぜ分析

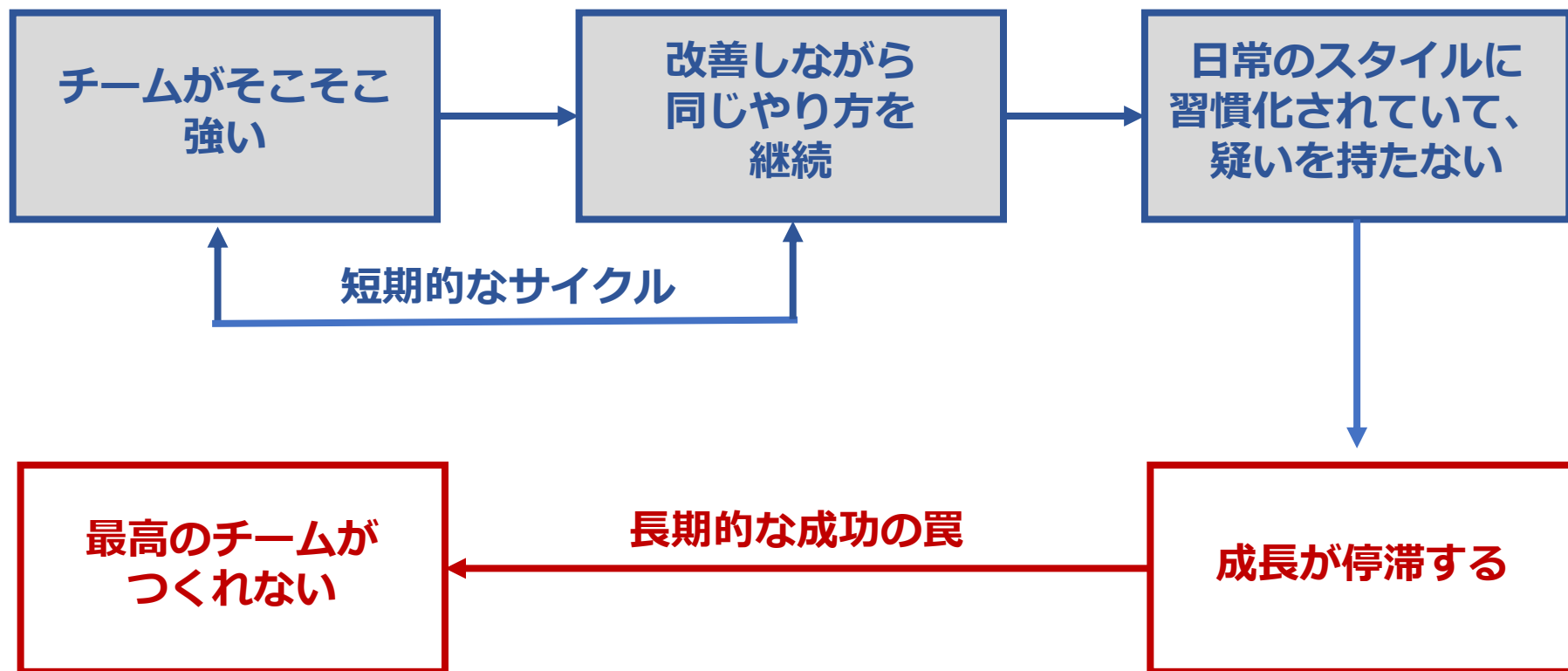
「2年生がいじめ事件を見逃した」



あ〜だ・こ〜だ



チームの体質を変える



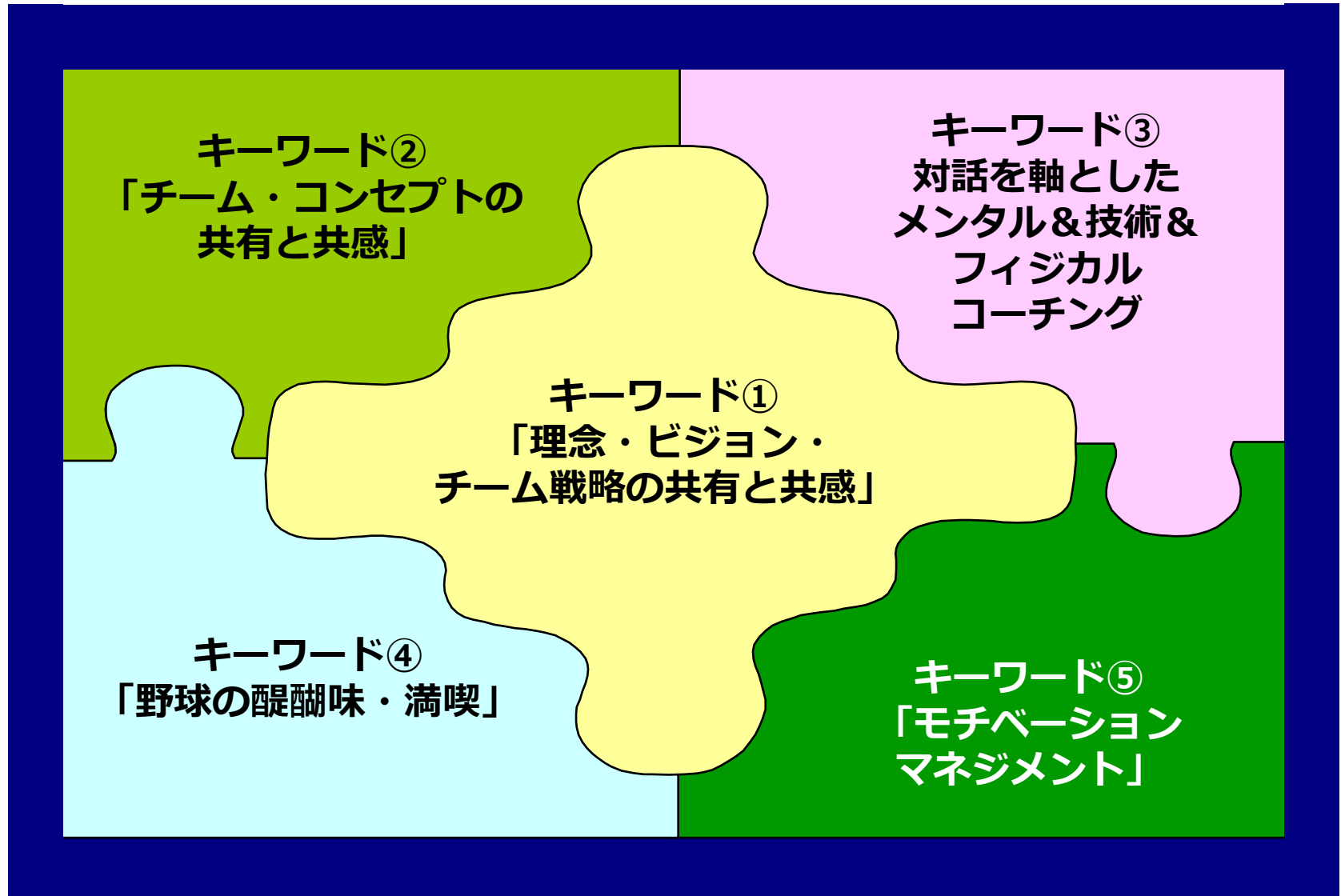
野球はスポーツで在り、勝ち負けで常に評価にさらされている。

指導者は、一度うまくいく方法をみつけたら、その方法を繰り返して続けてしまう。

しごく当たり前のことです。

これが、個人やチームが変わらなくなってしまう「**成功の罫**」のメカニズムです。

個人レベル	心技体の力不足、固定観念など
チームレベル①	多様性の欠如、関係性の悪さ、 リーダーシップの不足
チームレベル②	選手育成システム、チーム文化の問題



理念の存在

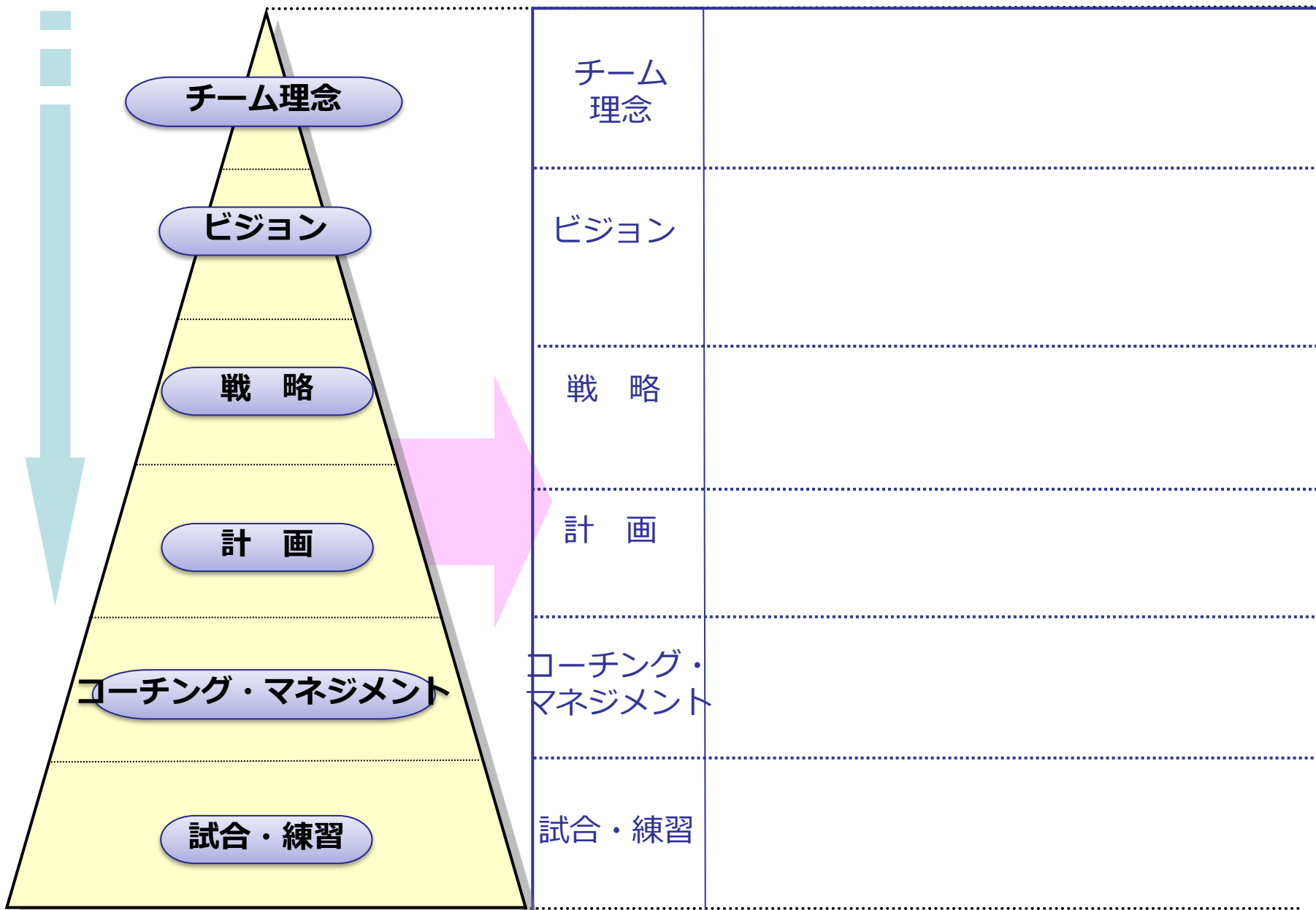
それは、在り方でもある

1. 理念を知る
2. 理念を理解する
3. 理念を実践する
4. 理念を伝承する

理念を共有すると
まとまりが生まれる

**言葉の意味を形成し、お互いが
紡いで、合わせていくことが大切
「感覚を共有する (Shared Sense) 」**

チームコンセプトの共有と共感



学びのシェア

